

豪華絢爛な笠鉾・屋台と  
大輪の花



12月3日、秩父夜祭の大祭が行われました。祭りがクライマックスを迎えた夜には、御神幸行列に続いて笠鉾・屋台が御旅所に向かい、団子坂を曳き上げられました。夜空に打ち上げられたスターメインや尺玉花火と、笠鉾・屋台の提灯の光が観衆を魅了しました。今年は、20万5,500人の多くの観光客が訪れて、秩父の街が大いににぎわいました。

また、上町美宝会館前では、花の木小学校歌舞伎クラブの児童たちが「屋台芝居」を堂々と演じていました。



いろいろな作品を展示「大滝文化展」



11月15日～17日、大滝公民館にて「大滝文化展」が開催されました。発表に向けて取り組んだ書画、写真、盆栽、手芸などの作品に加え、大滝中学校や光の村学園の生徒、デイサービスセンター利用者の作品も合わせて展示されました。多種多様の作品に、訪れた方々は深く感銘し称賛していました。また、オープニングイベントではコーラス部や民謡クラブの活動発表が行われ、華やかな文化展となりました。



龍勢祭の感動を再び



12月14日、龍勢会館において、第22回龍勢祭写真コンクールが開催されました。今年は37人・68作品の応募があり、「推薦」や「特選」などの入賞者が決定しました。全応募作品は、1月18日まで展示されています。

寒仕込みのみそ作り



12月9日～11日、荒川農村環境改善センター調理室で初心者みそ作り教室が開催されました。参加者は、「ふるさとの味伝承士」澤井さんの指導のもと、大豆の水づけから樽詰めまでの作業を行い、3日かけて米みそを仕込みました。みそは寒い時期に、ゆっくり時間をかけて発酵させた方が味に深みが出て、おいしく仕上がるそうです。今年の秋にみそが熟成し、できあがるのが待ち遠しいですね。

射手が狙いを定めて矢を放つ



12月4日、秩父神社御鎮座2,100年を記念して、秩父流騎馬神事が行われました。秩父公園内に馬場が設けられ、流騎馬が奉納されました。射手が疾走する馬の上から騎矢を放ち、的に見事命中させると、約2,000人の観衆から大歓声が起こりました。

高校生が秩父のまちづくりを考える



11月23日、「高校生編ふれあいミーティング（市長と語る会）」が開催され、秩父4高から20人の生徒が参加しました。秩父の魅力や課題について、高校生ならではの視点でさまざまな意見が出され、いきいきとした語り合いの場となりました。